

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「かがみがわ交流会！」の第二・三部！熱血交流会&懇親会

2月22日(土)に、「かがみがわ交流会！」と題し、鏡川流域関係人口が集う現地交流会を開催しました！

【第二部】では、参加者それぞれの「鏡川×〇〇」をテーマにトークセッションをしたり、参加者が鏡川にまつわる活動を発表したりと、**熱意あふれる交流会**を行いました。



まちのコイン「ぼっちり」のスポットである「カラオケ チミ・ボンサ」の大ホールに、これまでの関係人口講座受講生など、22名が集合しました。

まずは全員で、200号を達成した鏡川流域パートナーシップだよりをすべてに貼るワークショップを行いました！**鏡川流域にまつわる多様な人の多様な取組があってこそ達成できた200号の歴史**に感無量です^^

【例】「鏡川流域城郭倶楽部」を立ち上げ、鏡川と高知城の歴史を学ぶツアーを開催した坂東孝紀さん(高知大学地域協働学部1回生)や、「鏡川水生生物研究会」を立ち上げて鏡川の水生生物の調査やイベントを企画する小野咲さん(土佐高校1年生)のエネルギーあふれる活動発表に、参加者から大きな拍手が送られました！

自然や歴史への関心を最大限に生かして、**多様な人を巻き込みながら意欲的に活動に取り組む**姿から刺激を受けた参加者も多かったのではないのでしょうか。



【例】講座1期生～3期生から、高知市内の自然を生かした取組の発表がありました。

3期生の藤澤佑介さんからは、**鏡川流域での現地イベントの開催の様子**などを、写真を交えて丁寧に説明していただきました！



【例】鏡川流域で**自然と人の関わり**を生み出してきた人たちが集い、**鏡川流域パートナーシップの輪**をさらに広げ、深める機会になりました！

【例】参加者の「鏡川×〇〇」をテーマにしたトークセッションでは、「鏡川×子どもとのひと時」や「鏡川×日常」、「鏡川×駅伝」などの意見が出て、**参加者それぞれが鏡川とつながっている**ことが感じられました！



【第三部】は、カラオケ チミ・ボンサの鍋料理をいただきながら、参加者有志による懇親会を行いました。

第二部で語り足りなかった参加者も多く、懇親会でもモニターを活用した活動発表が続きました！**鏡川流域への熱い想い**は止まることはありませんね♪



【例】AIを活用した鏡川流域の新たな魅力の発見と発信に取り組む2期生の川田玄一さんからは、「ぼっちり」のユーザー様をはじめ、鏡川流域関係人口の取組に関わる人たちの**感謝の想い**が語られました。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android